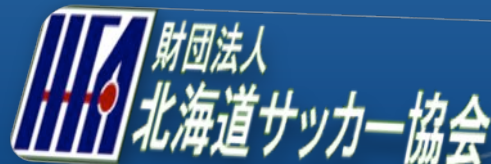


2011 北海道トレセン 第2回中学選抜大会

2011年10月22日～24日

【報告者】 桜庭慎二郎

会場： 札幌サッカーアミューズメントパーク
札幌東雁来運動公園
コンサドーレ札幌練習場



各地区の U-15 トレセン選手が 北海道のナンバー1 をめざす

1. 大会の概要

各地区代表が集う中学選抜大会は、昨年に引き続きS SAP・東雁来公園東西グラウンド・コンサ雁来グラウンドを使用し行った。予選リーグが8人制となるため、コートに一般用ゴールが2組あるコンサドーレ札幌育成部にも協力をいただき開催となった。今年度は、15地区のうち、道北・宗谷・北空知・根室が不参加のため、コンサドーレ及び、札幌中体連トレセンを加え13チームの参加となった。

予選リーグは、5チーム×1ブロック・4チーム×2ブロックの計3ブロック制で行い上位リーグ(8人制)と下位リーグ(11人制)に分けて、2日目のリーグ戦を行った。2日目以降、拮抗したゲーム展開となり、いずれのリーグも最終戦を行うまで順位が確定できない状況となった。最終日は、前日の雨もあがり上位トーナメントは11人制とし、8人制とは違った雰囲気の中、見事に



函館トレセン U-15 が、コンサドーレ U-15 を破り、初優勝で幕を閉じた。

北海道での一貫指導をブロックトレセンから！！
日本代表とオリンピック代表を2015年までに輩出する！！
和歌山国体(2015)までには優勝を！！

2. 組織的な守備から攻撃へ

良い攻撃は、良い守備から。常にハイプレッシャーの中でサッカーを展開することが大事であることから、守備に重視し、ボールを奪ってからゴールにつなげられる力を持ったチームが、勝利に結びつけることができたと感じた。ボールを奪うエリアがどこであれ、せっかく奪ったボールをすぐに失う。いかにボールを大事にしながらゴールへ迫るかがカギとなる。ミスでボールを失うことなく、攻守にわたり組織的にサッカーができるようになるために、今後のトレセン活動にも力を注いでいかなくてはいけない。



4. まとめ

昨年度は、指導者交流会も設けた中で行ってきしたが、今年度は行うことができなかった。指導者の交流の場として設定することで、北海道の選手育成のベクトルを合わせる観点からも大事なことと感じた。U-16年代からは地区にとどまらず北海道の選手として活躍する場を求めていく選手も多数いることから、指導者もひとつになり北海道全体として育成ビジョンに即した活動にしていきたい。

北海道としては、道内各地区の底辺の拡大と底上げ、エリート強化、指導者のレベルアップと連携を図りながら、U-15 から U-16 へのスムーズな橋渡しを行い、選手が継続してサッカーに取り組める環境を構築していきたいと考える。

北海道の夢と選手の夢が直結するようにしていきたい。

3. 成果と課題

今年度で2回目を数える選抜大会に地区トレセンが優勝したということは、北海道のレベルを上げるための起爆剤となったと感じる。函館トレセンの活動がより活発になることはもちろん、他地区の活動にもよい影響を与えることと考える。今大会が各地区の目標の一つとして掲げるべき地位を確立した出来事といえるだろう。

また、不参加地区への対応を考えた開催。8人制と11人制の抱き合わせで行っている意義などを、スタッフと協議しより一層の充実した大会になるよう発展していかなくてはいけないと感じた。北海道トレセンの一つの目標である、国体優勝へ向けた取り組みとしてU-16年代へつなげられるよう強化していきたい。

